

学校教育目標

心豊かで、高きをめざし、たくましく生きる子どもの育成 ～優しい子・考える子・丈夫な子～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



令和4年11月22日号
発行:酒田市立宮野浦小学校

本好きな子に

先週まで、読書に関わる様々な活動を通して、読書の楽しさ・良さを感じてもらおうと、読書祭を行いました。図書委員会の児童を中心に、読書郵便、イラストコンクール、読み聞かせなど読書意欲向上につながる活動を継続しました。酒田市では、読書活動推進計画の目標数値として1人、月10冊学校図書館からの貸し出しを掲げています。本校児童で目標達成できているのは一部です。本好きな子どもたちが育つには、環境整備が大切です。図書専門員さんの力を借りながら、児童が興味を持つ本の購入や、時節に合わせた本の紹介や掲示の工夫を行っています。

その環境整備に10年以上、本校に年2回本を寄贈してくださる方がいらっしゃいます。卒業生であり、桜美林大学で副学長も務められた、菅原俊也さんです。今年度2回目として先日17冊寄贈いただきました。毎回、送り状とすべての本の書評が同封されてきます。

【11/2分から抜粋】

この度もまた後輩の勉学に資するようにと、図書の贈呈をさせて頂く時期となり、ここに全十七冊をお届けいたします。図書全冊を通読するのに、思いの外日数がかかりましたが、将来母校の小学校から『夢』や『希望』を実現するような後輩達が育ってくれるように願いながら、「勉学の一助」を届けさせて頂く次第です。母校には、優秀な卒業生がたくさんいます。そういう先輩達を追い越すような人材に育ってほしいと、毎回祈念しつつ送本させていただいております。

これまで寄贈いただいた本は330冊。図書館に《菅原俊也文庫》が常設してあります。本の読み方には様々ありますが、自分に合った読み方で本を楽しめる、本好きな子が育つ学校でありたいと思います。



—協育— 保護者、学校、地域がビジョンを共有し、3つの力を協力して、子どもたちを育てる

会報部からは【自転車の乗り方についてのアンケート】、研修部からは【親子で考えるマネー教室】と校外生活に関わる取り組みを提案いただき、大変ありがたく思います。PTA理事会で、「生活のやくそく」について、役員のみなさんの考えをきくことができたことがきっかけになりました。子どもたちへの指導は、学校で当然行いますが、保護者の皆さんからも一緒に考えていただき、子どもたち自らが判断し、行動できるように学年の発達段階に応じて成長して欲しいと思います。子どもたちが正しい判断、行動できる、自律した宮野浦の子であるよう、これからもご協力をお願いいたします。

校長